

教育行政執行方針（要約）



教育長 山本 真也

平成27年度の教育行政執行につきまして、函館市教育委員会の基本方針を申し述べます。

豊かな人生を支援する生涯学習の充実

様々な学習情報を提供し、市民の学習活動を支援する「まなびつと広場」や、学習活動の担い手を取りまとめた「生涯学習リーダーバンク」の普及・拡大に努めるとともに、高齢者を対象とした事業については、より多くの市民が参加できるよう見直し、学習の成果や経験を生かした活動ができるよう支援します。

文化芸術の振興については「文化芸術アウトリーチ事業」の拡充を図るとともに、「はこだて国際民俗芸術祭」など、市民の自主的・創造的な文化芸術活動の支援に努めます。

また、各種団体との連携により、地域に根ざした文化芸術の振興を図ります。

文化財については、特別史

子どもの「生きる力」を育む学校教育の推進

跡五稜郭跡の石垣を復旧するほか、重要文化財旧函館区公会堂の耐震補強を含む大規模保存修理に向けた保存活用計画の策定に着手します。

また、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて、地元関係者と連携した取り組みを進めるとともに、史跡垣ノ島遺跡の整備に向けた基本計画の策定および発掘調査を実施します。

博物館においては、アイヌ民族やその文化を紹介する特別展を開催するほか、大学などと連携して新しい展示企画情報発信に取り組みます。スポーツ振興については、

既存施設はもとより「函館アリーナ」や「函館フットボールパーク」を活用し、各種競技力の向上や生涯スポーツの振興に努めるほか、スポーツ合宿や大会の積極的な誘致をさらに推し進めます。

また、各種スポーツ団体と連携し、各種競技大会やプロ野球公式戦を開催し、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、2016年6月のフルマソン大会の開催に向けて、引き続き関係団体と連携を深め大会の成功を目指します。

信頼される学校づくりにつ

いては、学校経営改善を図るため、学校の情報を積極的に紹介するとともに、特別支援教育支援員など、地域人材を活用し、地域と一体となった教育活動の推進に努めます。

学力向上については、アタースクールへの支援を進めるとともに、子どもの思考力や判断力などを育てる「探究型」の授業を推進するほか、小・中学校の連携を深め、望ましい生活・学習習慣の形成を図ります。さらに、地域性などを踏まえた実践的な研究やICT機器の活用に向けた取り組みを進めます。

南北海道教育センターにおいては、今日的な教育課題を踏まえた教職員研修を実施するとともに研究員による実践的な教育研究を推進します。

豊かな心の育成については、支持的風土を築く学級経営に努めるとともに、道徳の教科化を踏まえた道徳教育を推進します。

いじめ問題や不登校への対応については、適応指導教室などにおける学習や集団適応などの支援に努めるとともに、教職員に対する各種研修会の内容を充実します。また、いじめ等対策委員会

による実態把握のほか、子どもたちの自主的・主体的な活動への支援や市民に対して啓発する集会等を実施するなど、いじめ撲滅に向けた取り組みを進めます。

特別支援教育については、特別支援教育支援員の配置を拡充し、学校体制の充実を図るほか、本市の特別支援教育の在り方を協議する「函館市特別支援教育推進協議会」を創設するなど、新たな支援体制をスタートさせます。

健全な体の育成については、基本的な生活習慣を定着させるため、PTA活動などと連携し、重点的に取り組むとともに、学校における体育の授業の工夫改善を図るほか、性や薬物に関する指導の充実に努めます。

学校給食については、和食給食を進めるとともに、函館産農水産物の使用の一層の拡充を図ります。

また、食物アレルギー対策については、保護者や関係機関との連携を図るとともに、教職員研修を実施するなど、対策マニュアルに沿った取り組みを進めます。

子どもの安全確保については、登下校の安全確保に努めるとともに、防犯教室や災害を想定した訓練など、地域社会、家庭との連携を図った学校安全を推進します。

また、インターネットを通じた様々なトラブルの実態や情報端末の利用状況などを踏まえ、情報モラルの育成を図るとともに保護者と子どもの学習機会の充実に努めます。

国際理解教育については、「中学生海外派遣事業」を引き続き実施するほか、外国人英語指導助手などの効果的な活用を図ります。

小・中学校の再編については、「函館市立小・中学校再編計画」に基づいた取り組みを引き続き推進します。

市立函館高校については、進路目標を実現する教育活動を進めるほか学校運営の在り方について検討を進めます。

未来を拓く教育施設の整備

社会教育施設については、市民会館の耐震改修に向けた調査を行うほか、戸井西部総合センターの整備に着手します。また、函館アリーナと函館フットボールパークの整備を完了させるとともに、施設の活用を積極的に進めます。

学校施設については、耐震化を早期に進めるほか、第1期中学校の再編に伴い、現在の場中学校の建て替えや平成28年4月の開校をめざす現在の桐花中学校の改修などを進めます。